

給食たより

令和6年1月

東岩槻小学校

楽しい冬休みもあっという間に終わり、いよいよ3学期が始まります。今年度の締めくくりの

学期です。万全に体調を整え、残りの日々を元気に過ごしましょう。そのためにも毎日の生活

を規則正しく過ごし、バランスのとれた食事をし、しっかり体を休めることが大切です。



全国学校給食週間は、戦後に食べものが不足している時代に、海外からの援助を受けて再開

された給食を記念して作られた行事です。ララ物資 (LARA; Licensed Agencies for Relief in

Asia : アジア救援公認団体からの援助) を受けて、コッペ

パンと脱脂粉乳から始まった給食が、子どもたちの多く

の命を救ってくれた事を忘れないように今も続いています。

今年もそんな歴史のある全国学校給食週間にむけて、

給食や食生活に関する標語を募集しました。

応募してくれた全員の作品は坂廊下に掲示しています。

その中から学校代表として1つ、2年の福澤さんの標語

を、さいたま市に応募しています。(ただいま選考中です)

学校代表作品

2年

福澤

純那

この時間

まっています

ガタゴトン

ひまわり学級の作ったカリフローレを給食に使いました

学校ファームで育てていた「カリフローレ」というヨーロッパの野菜を、12月7日の給食に取り入れました。



白と紫が収穫できました

カリフラワーを品種改良した物で、茎の部分が長くなっているのが特徴の野菜です。ヨーロッパ野菜研究会の方にアドバイスを

をしていただきながら、大切に育てた努力の結晶は、おいしい給食になりました。



いよいよ収穫です

切り分けは茎から裂くようにします

マヨネーズを付けていただきます

岩槻の名産品「慈姑」を食べました

いつもお米を注文している「いわつき米地産の会」では、米だけでなく慈姑の栽培もおこなっています。今回はM玉という卓球の球より少し小さいサイズの慈姑を使用しました。もっと小さいサイズを素揚げにしてもおいしいです。



くわいの本物を掲示しました
(手に取って見られるように)



くわいができるまでのしょうかい

くわいを水耕栽培中

